

このメールがお読みにできない場合は[ブラウザで閲覧してください。](#)

CERA

Chartered Enterprise Risk Analyst

CERA

Chartered Enterprise Risk Actuary

<http://www.ceraglobal.org/> | ログイン | 連絡先

2015年12月22日

メンバー各位

CERA ニュースレターへようこそ

目次:新 CGA 理事会会長挨拶 | CGA メンバーのプロフィール:ドイツ・アクチュアリー会 | 心から歓迎! | CERA が 4.63%に | 日本で CERA がリスクガバナンスに関するパネルディスカッションを開催 | 第1回 EAA リスク管理サミットが成功裏にスタート | 南アフリカ・アクチュアリー会会長および CGA 協定理事会を務めた故ガス・グリフィン氏へのピーター・テンプル ASSA 会長の追悼文 | 興味深い記事の紹介を求む | 行事予定:1月~3月 |

新 CGA 理事会会長挨拶

CERA のグローバル化:権威あるリスク管理資格を目指して

フランク・サバティーニ氏から引き継いだ理事長の職務はやりがいのある仕事です。過去6年間で、意欲的な CGA 理事会、16以上の資格付与署名者、2,800名以上の CERA 資格者を擁するグローバルな組織が築き上げられました。サバティーニ氏はこの業績を満足して振り返っていることでしょう。

すべての CERA がグローバルな IAA 基準に相当する職業的および倫理的な規範を有しており、CERA は際立ったリスク管理資格と言えます。今後3年間に CGA を次の段階へと導くことが私の任務です。

ポイントは何だと考えていますか？

- －CERA のもたらす付加価値について、雇用主企業の認識を高める必要があります。
- －CGA に参加するアクチュアリー会をさらに増やす必要があります。
- －CERA 資格を保有するアクチュアリー の比率を高める必要があります。最終的な目標は、世界のアクチュアリー の 10%が CERA 資格を保有するようになることです。今後 3 年での達成は難しいでしょうが、私の後継者によって達成されるでしょう。

理事会は強い連帯と熱意をもって活動に取り組んでおり、それが CERA ブランドを世界中でさらに発展させる基礎となることでしょう。

CGA メンバーのプロフィール：ドイツ・アクチュアリー会

ドイツ・アクチュアリー会（Deutsche Aktuarvereinigung e.V. : DAV）は、1994 年の創設以降大きく成長してきました。今日、DAV には会員が約 4,500 名、アクチュアリー試験制度に在籍する学生が約 1,500 名、同会の業務に携わる職員が約 30 名います。

CGA の創設メンバーである DAV は、2012 年に資格付与署名者となりました。ドイツでは、これまでに 143 名のアクチュアリーが CERA 資格を取得し、現在 173 名のアクチュアリーが同国の教育プログラムに参加しています。加えて DAV は、欧州各国のアクチュアリー会と共に CERA 教育を提供する欧州アクチュアリー・アカデミー（European Actuarial Academy）のパートナーにもなっています。このアカデミーを通して、さらに 60 名のアクチュアリーが CERA 取得を目指しています。

DAV には ERM に関する事項に取り組む様々な組織があります。ERM 委員会は技術的な論点を中心に取り扱い、CERA ワーキンググループは教育システムに取り組んでいます。さらに、CPD（継続教育）委員会は、ドイツ・アクチュアリー・アカデミーと共にリスク管理における総合的な CPD プログラムが確実に実施されるように図る一方、ドイツの CERA のために定期的な交流の機会を提供しており、「CERA の日」などを開催しています。（上記写真（掲載省略）は 2015 年 3 月 4 日にケルンで開催された「CERA の日」の会場）。

心から歓迎！

新 CERA の皆さんへ！

過去 3 カ月間に資格を取得した 100 名の新 CERA を心から歓迎します。CERA ウェブサイトで紹介していますのでご覧ください。

CERA が 4.63%に

喜ばしいことに、CERA 資格を保有するアクチュアリーの数の世界のアクチュアリー全体の 4.63%に達しました。CGA は今後 3 年間に 10%の目標を達成することを目指しています。

日本で CERA がリスクガバナンスに関するパネルディスカッションを開催

2015年11月11日(水)、日本アクチュアリー会の年次大会において、「CERA で学ぶリスクガバナンス」と題したパネルディスカッションが行われました。4人の発表者は、いずれも CERA 資格者であり、リスクガバナンスについての実例を示すとともに、このパネルディスカッションを通じて CERA 資格の推進にも貢献しました。

まず、RGA の藤澤氏から、本日のプレゼンテーションの概要について説明がありました。続いて、東京海上ホールディングスの小崎氏と PwC あらた監査法人の青塚氏が、過去の ST9 エンタープライズ・リスクマネジメント試験 (CERA 試験) の問題から「3つの防衛線」に関するトピックと「不正会計」に関するトピックをそれぞれ解説しました。その後、IFoA の CERA セミナーでも取り扱われたことのある HBOS のケーススタディを住友生命の勝野氏が紹介し、「3つの防衛線」の各観点での解説と、可能な解決策についての所見を述べました。それについて、小崎氏はリスク管理上の観点から、青塚氏は監査上の観点からコメントしました。

その後、聴衆も参加するディスカッションが、藤澤氏を進行役として行われました。会場からは「M氏(取締役会に忠告し解雇されたリスクマネージャー)は自身のリスク管理ができていなかったのではないか」という意見が出ました。

今回のパネルディスカッションでは双方向ツールを使って聴衆の回答を表示する試みも行われました。パネルディスカッションの冒頭で行った「CERA 資格を取得したいか」という質問では 39%が「是非取得したい」と回答したのに対し、その終了時には 45%に上昇しました。パネルディスカッションの間に、関心を持つ人が 6ポイント増加したことになります。

第 1 回 EAA リスク管理サミットが成功裏にスタート

欧州アクチュアリー・アカデミー (EAA) が主催する第 1 回 EAA リスク管理サミットが 2015年10月29日、ドイツのフランクフルト・アム・マインで開催されました。

欧州のリスクマネージャーを対象とするこの新しいイベントの初回に、欧州全域から約60名の参加者が出席しました。当日のプログラムでは、EIOPA、ドイツ連邦銀行、IBM、CGA およびゼネラルの発表者が有益な講演を行いました。サミットの最後にはEAAの創立10周年が祝福されました。

続きを読む >>>

写真（掲載省略）は、EAA サミットでCGA およびCERA 資格を紹介する審査委員会のポール・キング氏

南アフリカ・アクチュアリー会会長およびCGA 協定理事を務めた故ガス・グリフィン氏へのピーター・テンプル ASSA 会長の追悼文

深い哀悼の念をもって、元南アフリカ・アクチュアリー会会長ガス・グリフィン氏の逝去をお知らせします。

アクチュアリー資格は多方面で通用するとよく言われます。グリフィン氏はこのことを体現した人でした。彼はオールド・ミューチュアルの社長、セージ・ライフのグループ CEO、アブサの会長を務めました。ASSA-JSE 指数を開発した ASSA 委員会委員長を一時期務め、退職引当金に関するスミス委員会に所属し、UCT（ケープタウン大学）におけるアクチュアリー課程の設置を監督した共同常任委員会に ASSA 代表として参加し、さらに、最近までアクチュアリー会発展信託（Actuarial Society Development Trust）の会長の職にありました。ASSA 会長として、国内の教育制度の強固な基礎を築く上で重要な指針を示しました。同時に、ASSA を代表して CERA 資格に関する議論に参加し、そこでの彼の断固たる決意は、すべての当事者の利益を損なわない制度に貢献しました。この過程で尊敬を集め、国際 CERA 機関（CERA Global Agency）理事会会長に招かれました。来週実施される銀行業務正会員資格（Banking Fellowship）の第1回試験は、グリフィン氏の業績を示すもう一つの生きた証しです。彼は銀行業務正会員資格のシラバスと注釈の完成に関与しました。

グリフィン氏は、厳しい決定を下し、指導力を発揮することを厭わない反面、周囲の意見によく耳を傾けました。自分自身には極めて高い基準を課しながら、他者に対しては、彼の基準に到達できない場合でも並外れた忍耐を示しました。他者の潜在能力を引き出すことに強い関心を持ち、若いアクチュアリーとの交流を心から楽しみました。

彼の精力的なビジネスリーダーとしての一面しか知らない人は、彼が家族について深い愛情と誇りをもって語っていたことや、ノートパソコンのスクリーンセーバーに孫の写真を使っていたことを知らないかもしれません。

私が最初にグリフィン氏に会ったのは、彼がセージ・ライフのCEOだった12年以上前のことです。彼は、私を含め多くのシニアアクチュアリーの大きな尊敬を集めていました。彼を失ったことは、私とアクチュアリー界、そしてアクチュアリー以外の多くの人々にとっても大きな痛手です。彼と知り合えたおかげで私はアクチュアリーとして、人間として成長できました。

興味深い記事の紹介を求む

CERA ウェブサイトの「**news and resources** (ニュースと情報源)」のページに、ERM の人気記事・論文コーナーを設けています。その中には、CERA が執筆したものも含まれています。

当サイトでは閲覧者や CERA の方々からの協力をお待ちしております。皆さんの読んだ記事、書籍、論文のなかに面白いものがあれば、是非ご紹介ください。

オーストラリア・アクチュアリー会から、その作業部会の 1 つによって執筆された論文「**Developing the Risk Appetite Framework of a Life Insurance Business (生命保険会社のリスクアペタイト・フレームワークの策定)**」の提供がありましたので、そのリストに追加しました。

行事予定：1月～3月

第18回世界アクチュアリー会議 (第18回GCA)

2月1日～2日、ムンバイ

EAA - CERA モジュール：ERM - 概念と枠組み

2月29日～3月1日、クロアチア、ザグレブ

EAA - CERA モジュール：ERM の定量的方法

3月2日～3月4日、クロアチア、ザグレブ

第2回IFoAアジア会議

3月3日～3月4日、クアラルンプール

リスク・南アフリカ

3月10日～3月11日、ケープタウン

EAA セミナー：ソルベンシーIIに基づくモデリングおよび死亡率の検証

3月10日~3月11日、スペイン、マドリッド

オペレーショナルリスク・北アメリカ

3月14日~3月17日、ニューヨーク

EAA 研修：困難な市場環境における資産管理

3月17日~3月18日、ドイツ、ベルリン

上記イベントの他にもお勧めのイベントがございます。詳しい情報については、CGAのウェブサイトの events ページをご覧ください。

このメールは、メールアドレスがCGAのメールリストに登録されている方に送信しています。[メールアドレスは表示しておりません。]

CGAが送信するすべてのニュースレターの配信停止を希望する方は、ここをクリックしてください。